

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	大学及び企業との連携推進事業			事業番号	37-106
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部	吉川 幸輝	経営企画課	黒石 正幸	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち		
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり		
		施策展開の方向	18	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる		
		施策	37	市民に信頼される市政の推進		
予算事業名	企画一般事務費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない		
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度		
関連法令等						
国・県の計画等				計画期間		
関連個別計画				計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	少子高齢社会の進展や環境問題、災害対策等、行政を取り巻く課題が複雑化・多様化する中、個々の自治体だけで対応することが困難な事例も生じています。大学や企業等と連携し、さまざまな分野における課題解決や地域活性化に向け、行政の枠を超えた発想や活力、学識経験等を取り入れながらまちづくりを進めていくことが求められています。					
目的 (何をどうしたいのか)	大学や企業と連携・協働して提携事業を進め、さまざまな分野における課題解決や地域の活性化を図ります。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市内の大学及び企業					
事業内容 (手段、手法など)	・市内の大学及び企業とさまざまな分野で連携、協働して効果的な事業を進めるため、包括的な協定を締結します。					
事業行程	項目	年度				
		28年度	29年度			
	大学、企業との包括協定の締結	包括協定の締結	包括協定の締結			
目 標	【指標名】	【現状】	年度			
			28年度	29年度		
	包括協定した大学及び企業数	1件	2件	3件		



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	引き続き、既存の協定に基づく提携事業を推進するとともに、市内での更なる活用に向けて、制度の浸透を図ります。 また、新たな協定の締結に向けて、関係団体と調整を図り、新規の協定締結に繋げていきます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	大学、企業との包括協定の締結	包括協定に向けた調整	包括協定に向けた調整
実施した取組の内容	既に包括協定を締結している東海大学と連携、協働し、様々な分野における提携事業を実施しました。 また、市内に立地する大学との新たな包括協定の締結に向けて調整を図りました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	包括協定した大学及び企業数	1件	1件

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
		事業費合計 (a)		0	千円	0	千円	0	千円	0
内訳	国県支出金 ①		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	地方債 ②		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	その他特財 ③		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源 (a)-①-②-③		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
国県支出金の内容										
その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他									
人件費	正規職員		0.10	人	865	千円	0.10	人	873	千円
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.10	人	865	千円	0.10	人	873	千円
トータルコスト (a)+(b)			865	千円	873	千円				
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位		市民		単位	
		対象数	101,635	人	102,037	人				
	総事業費／対象数		9	円	9	円				

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	市内に所在する大学との新たな包括協定の締結に向けて調整を図りましたが、協議に時間を要したことから協定の締結には至りませんでした。既に締結している東海大学とは、包括協定に基づく提携事業を推進し、各分野の課題解決等を図りました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	近隣市では、厚木市が5大学、秦野市が2大学と包括協定を締結していますが、市によって域内に所在する大学数が異なることから一律に比較することは困難です。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	東海大学との包括協定に基づく提携事業については、さまざまな分野で知見の活用が図られるとともに、医学部と連携した健康バスや市民健康スポーツ大学の取組等、市民に対して直接的なサービスをもたらすことができるなど、有効性の高い事業となっています。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	さまざまな取組に対し、学識に基づく知見と運営ノウハウ等を活用することができ、大学の強みを生かした効率性の高い事業となっています。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	今後の新規協定締結にあたっては、実際の連携事業を見据え、本市が抱える課題と協定先の大学や企業が考える内容のマッチングが必要ですので、協定締結に向けた連携事業の方向性と具体的な内容の摺り合わせが必要です。
次年度以降の取組の方向性	東海大学との連携事業については、継続的に制度の浸透と新たな取組の検討・実施を行います。また、新たな市内の大学や企業との協定締結に向け、関係機関と調整を行いながら早期の締結が図られるよう事務を進めます。
所管部長による総評	本事業は、市が抱える課題や今後さらに推進していく取組に対し、大学や企業が持つ高い専門性と知見を活用することができる大変有効な事業です。特に本市には東海大学の医学部があることから、健康づくりの分野で有効な連携と事業展開を図っています。また、市内の大学や企業との連携・協働を図ることで、さまざまな分野において持続的で機能的な取組の促進につながることから、今後も本事業のさらなる推進が必要です。